

(公財) 大阪産業局の最重点目標の指標の設定について

【7月30日審議会の委員意見】 以下のいずれかを選択いただきたい。

- ① 最重点目標に3つの指標を設定。3つの指標をセットで設定する以上、評価は3つすべてが達成された時のみ加点することとし、部分点はなし。
- ② 部分点を希望する場合、3つの指標の中から1つを選択し、他はプロセス指標として設定。または、1つを最重点目標に選択し、他は項目Ⅱに設定。



【法人の考え方】

- 今回は、①を選択。
- 売上・利益・雇用者数の3つの指標をセットで1つの目標とすることについては、アウトカム指標を重視する首長の意向を踏まえ、企業支援の成果として優劣の付け難い性質のものである点に鑑み、一体的な指標としている。
- なお、現行の制度では、前年度の実績がない取組みを指標化する場合には、部分点の制度がない。
法人のチャレンジを後押しする仕組みとして部分点について検討して欲しいと考えており、法人の活性化に向けた課題認識のもと、是非、審議会で検討いただきたい。

修正案

○ 平成30年度の経営目標達成状況及び令和元年度目標設定表

I. 最重点目標(成果測定指標)											
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ウェイト(H30)	H29実績	H30目標	R1目標	ウェイト(R1)	中期経営計画(未策定)		R1目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
						実績[見込]			R1目標	最終年度目標	
① 中小企業支援サービスの向上	事業利用による支援企業の成果 売上・営業利益・雇用者数の改善(DI) (改善したと回答した企業の割合－悪化したと回答した企業の割合)	☆	-	-	-	-	売上高変化DI 20 損益変化DI 20 従業員数変化DI 10	30	-	-	平成30年度の産業創造館利用者に対するアンケートで把握した売上・営業利益・雇用者数の結果を参考に数値目標を設定。「大阪経済の情勢(2019年7月)では、「大阪経済は、一部に弱い動きが見られるが、緩やかに拡大している。」としつつ、「先行きでは、所得環境の改善状況、海外経済の動向等に引き続き注意が必要。」とされており、こうした点を踏まえ、目標は30年度水準をキープするよう努める。
- 中小企業支援サービスの向上	海外取引支援斡旋件数		件	35	2,806	2,800 3,168	-	-	-	-	-